



# くすのき

2018年11月  
< Vol. 2 >



## ～今年度より心不全チームの診療を開始しました～

循環器内科医長 藤井 悠一郎

医療技術の進歩により多くの心疾患の方が長生きできるようになってきている昨今、持病に心疾患を抱える慢性心不全の患者さんが増加してきています。加えて慢性心不全の患者さんは心不全の憎悪により入院を繰り返すことが多いため、このようなご高齢の慢性心不全の患者さんに対応するための環境を整えることが地域医療にとって急務となっています。

心不全とは、心臓に何らかの疾患をもっているため心臓のポンプ機能が弱ってきている状態のことであり、その病状は患者さんの年齢や生活背景、元になっている心疾患などにより異なりますし、同患者さんでも年を重ねていくにつれて病状も変化していきます。そのため心不全の患者さんにはこの薬を飲んでいれば大丈夫といった特効薬はなく、患者さん一人一人の病状に合わせたお薬の処方、適切な生活指導を行っていく必要があります。

このような問題に対応していくため、当院では今年度より心不全チームによる心不全患者さんの診察を開始しました。心不全チームは多職種スタッフによる回診やカンファレンスを行い、治療方針の検討や助言を行うことで治療を円滑に進め、心臓リハビリテーションによる早期離床や退院後の生活指導を行うことで再入院を予防することなどを目的に活動しています。現在は入院した心不全患者さんを対象にこのような診療体制をとっていますが、将来的には退院された後の患者さんに対しても治療のお手伝いができるよう、地域の開業医の先生方とも連携をとるなどの役割を担っていけるようなチームにしていきたいと考えています。



## 口腔ケアサポートチームの紹介

外来看護師長 圓館 真由美

元気な人には軽視されがちな口腔ケアですが、『人生の1割以上を介護状態で過ごす』と言われるほど高齢化が進むわが国では昨今、口腔ケアの必要性が高まっています。高齢者は口腔内細菌により気づかない間に誤嚥性肺炎を引き起こし、1日300人以上の方が亡くなっています。

当院では平成27年度から歯科・口腔外科が開設され、看護師も患者さんの口の中を重視し、日々の観察と習慣的な口腔ケアを実践する努力をして参りました。そしてこのたび入院患者の口腔内評価をより適切に行い、患者個々に合わせた口腔ケアの提供を目的に各病棟の中心となって活動する口腔ケアサポートチームを設置しました。口腔ケアの効果は、病気の回復のみならず、食べる楽しみなど精神面へのよい影響が期待できます。チームの活動により、患者みなさまの疾病回復や合併症予防の一助となるよう益々努力していきたいと思っております。

## 日の出通り商店街の餅つき大会に参加してきました

看護部長 濱岸 信子

ナイチンゲールの誕生日である5月12日は「看護の日」として制定されています。毎年この日を中心に全国の医療機関等では、国民のケアと看護の精神を向上させることを目的としたイベントが多く開催されています。当看護部では、5月にはこのようなイベントが行えなかったため、今回、地元商店街で開催される餅つき大会に参加し、東京蒲田医療センターのブースを設けて頂きました。

当日は晴天に恵まれ、餅つき大会の他に抽選会等があり、多くの皆さんで賑わっていました。東京蒲田医療センターのブースでは血圧および経皮的動脈血酸素飽和度測定、看護職による健康相談を行い、40名ほどの皆さまにお越し頂きました。地元の皆さまからいろいろなお話を伺う事もでき、大変有意義な時間とすることができました。

今後も地域の皆さまに貢献できるための取り組みを行って行きたいと考えております。



～お知らせ～

第5回 区民公開講座 11/10(土) 13:30

「加齢と眼疾患」 当院健康管理棟 2階 大会議室



独立行政法人地域医療機能推進機構  
東京蒲田医療センター

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 2-1 9-2

03-3738-8221